

一般行政
福岡地区の
市内循環バスの今後の
運行計画について



蒼政会
宮山 博

問 3月10日に開催された東金市地域公共交通会議で、第2次東金市総合交通計画(案)の市内循環バスの項目に、「廃止も含めた運行の見直し基準を設定」という文言があったと聞いているが、事実なのか伺う。

答 計画(案)の原案の段階において「福岡地区及び豊成地区においては、市が運行する循環バス及び乗合タクシーが運行されていることから、廃止も含めた運行の見直し基準を設定し、利用状況等からルート・ダイヤ等の運行計画

の見直しを実施」と記載されていた。

しかしながら、3月10日の交通会議において、委員から「廃止も含めた運行見直し基準を設定」という表現は適当ではないという意見があり、協議の結果、「福岡地区及び豊成地区においては、循環バスと乗合タクシー両者を効率的に運行する観点から、明確な評価基準を設定し、ルート・ダイヤ等の運行計画の見直しを実施する。更に車両の更新にあわせて車両購入の考え方を検討する」という文言に変更されたもの。

教育行政
文化財の
資料保管施設は



東嶺会
相京邦彦

問 文化財の保管などを前提にした、旧両総用水事務所内の建物を利用する準備と利用計画は、また、保管庫利用の関係団体についても伺う。

答 旧両総用水事務所の建物は、市所有であるが、土地は両総土地改良区の所有のため、今年度より借地契約を交わした。併せて建物の一室の温度と湿度が調整できるように、既存エアコンの電気接続工事を行った。生涯学習課では仮称「松之郷文化財保管庫」として位

置づけ整備を進めている。将来的には文化財の保存はもちろん、展示及び歴史講座、体験教室等が出来る施設を目指したい。

また、生涯学習課が把握している歴史関連の地元団体として、東金市文化団体協議会に属する郷土研究愛好会がある。この愛好会から展示活動が出来る場や、講座等の学習が出来る場の要望があり、今後、文化財保管庫の活用として広い視野に立ち、市民に開放できるように場や情報の提供を検討していきたい。

産業振興行政
オリーブ栽培の
今後の計画について



蒼政会
坂本賀一

問 オリーブの収穫まで数年かかることから、収益、収穫量のイメージがないと栽培協力を繋げられない。栽培協力を募る際に、収益、収穫量のイメージをどう設定しているか、また、病虫害対策は考えているか伺う。

答 収穫開始時期は平成30年を予定しており、順調に生育すれば、平成34年には収穫量約26トン想定している。先進地の事例を参考に検討したところ、全量を500万円程度、加工品と

した場合に3000万円程度の出荷額が見込めるものと考えている。病虫害対策については、ハマキムシ類とオリーブゾウムシ、炭そ病などを想定している。定植後数年はゾウムシ等防除年3回以上、果実がなりだすと炭そ病防除3回、ハマキムシ防除3回程度が必要と考えているため、試験栽培でのノウハウも含め、生産者への情報提供を図ってまいりたい。

福祉行政
正規保育士の確保を



日本共産党
櫻田あや子

問 現在の公立保育所職員の構成は、正規採用が41名、任期付きが8名、臨時非常勤が51名と正規採用以外が全体の約60パーセントを占めている。保育の安心・安全を確保するために不安定な働き方ではなく、正規化と処遇改善が急務である。昨年度は正規保育士の募集がゼロであり、今後正規保育士の採用を増やすべきであるが見解を伺う。

答 保育士には様々な勤務形態の職員がおり、多様な雇用の形態を用意する

ることで働き手の確保に努めている。また任期付き職員には採用に対し年齢制限がないことから、即戦力を確保できるというメリットも考えている。年度ごとの入所人員に対して、一定年齢部分に多くの保育士が必要となつた場合などは、できるだけ臨時職員の確保に努めている。保育士の採用についてはバランスのとれた適正な職員配置を進め、保護者が安心して子どもを預けることができる環境を整備していきたい。

教育行政
快適な教育環境・
ミストシャワー設置について



公明党
佐竹真知子

問 熱中症対策として、2年前の定例議会でも提案をしたが、暑い夏に子供達に少しでも涼を与えられるよう、冷暖房の設置は難しいとしても、小中学校にミストシャワーを設置することが効果的だと思いが考

答 ミストシャワーは屋外活動などの際に簡便に涼をとることが出来るもので、全国的に設置する小中学校が増えていることは把握している。屋内設置されるエアコンとは異なり、ミ

ストシャワーは屋外での使用に限られ、噴霧範囲も限定的となる面があるが、熱中症対策として一定の効果も期待することができると認識している。

なお、先行事例では簡易型のミストシャワーの設置が中心であり、量販店で1万円前後で購入できる物であり、学校で工夫して設置することが出来るため、現行予算の範囲内で、試行的な設置について進めていきたい。

一般行政
ふるさと納税の
納入方法等について



公明党
中丸悦子

問 クレジットカードの利便性は非常に魅力あるところだと思ふ。本市でもふるさと納税でクレジットカードでの決済ができるようになることだが、その概要と、どのような方法で周知をはかる予定なのか伺う。

答 寄付金の納入方法を簡便にするため、6月1日からクレジットカード決済を始めたところである。ふるさと納税のポータルサイト「ふるさとチョイス」にて寄附の申込みを行い、支払方法に「クレジットカード

決済」を選択し、クレジットカード番号等を入力することで手続きは完了する。

ふるさと納税がクレジットカードで決済可能となったことについては、ホームページにてお知らせをしている。

また、市外の方々に発信する情報のため、総務省が開設する「全国移住ナビ」の本市のページにおいても、ふるさと納税のサイトへリンクを貼り、本市に関心を持つ方にも寄附を募れる形を整えている。

医療行政
東千葉メディカルセンター
中期計画見直し
プロジェクトについて



公明党
上野高志

問 東千葉MCの中期計画とが第一とされており、現在の変更における達成目標の設定にあたり、設立団体としてどのように関わっているのか。また、今後の経営改善のチェック体制はどのように考えているか伺う。

答 今回の中期目標・中期計画の変更については、現在の診療体制から、段階的な診療科の開設及び病棟の開棟計画等について見直しを余儀なくされている。設立団体としては、法人の経営における収支のバランスを安定させるこ

とが第一とされており、現在の医療需要、国の動向、診療報酬の改定等、千葉大学の報告書における提言を踏まえ中期目標の変更を行い、法人に中期計画策定指示をしていく。

また、経営改善の今後のチェック体制は、経営改善の取り組み及び中期計画の策定等、進捗管理を含め、今後も検証を行ってもらうことを申し入れられている。千葉大学医学部附属病院との連携を深め、経営健全化に向けた取り組みを進めていきたい。

医療行政
地域に根ざした病院への
転換で地域医療の充実を



日本共産党
前田京子

問 東千葉メディカルセンターの経営健全化に向け、中期目標の見直しが行われている。3次救急・急性期医療に軸足を置くのではなく、県の全面的な支援を受け、さんむ医療センターなど地域の公立病院との医療連携を進め、地域の特性を生かし、地域に根ざした病院へと機能を変更すべきと考えるが見解を伺う。

答 千葉県地域医療構想では、平成37年の時点での必要病床数は、高度急性期病

床とともに、回復期病床の不足が見込まれている。中期目標の変更案において、回復期等の対応について盛り込むことを考えている。医療連携については、地域医療連携の強化が今後の経営にとって重要な取り組みであること認識し進めていくべきと思っている。また、当初の計画と現実の取り組みの中で、かい離が発生しており、そこを県に補ってもらふ事が当然、必要であることから、県に対する取り組みを今後も続けていきたい。

市政に関する一般質問

※紙面の都合上、一般質問の一部について要旨を掲載しています。詳細については、図書館・中央公民館及び市役所情報公開コーナーにて「会議録」の閲覧、または、東金市ホームページより会議録検索システムでご覧ください。(9月上旬発行・掲載予定) 会議録検索のホームページアドレス <http://www.kaigiroku.net/kensaku/togane/togane.html>